

平成 26 年度

社会福祉法人 猪苗代福祉会 事業 報 告 書

社会福祉法人 猪苗代福祉会

- 特別養護老人ホーム いなわしろホーム
- いなわしろホーム 指定短期入所生活介護事業
指定介護予防短期入所生活介護事業
- いなわしろホーム デイサービスセンター指定通所介護事業
指定介護予防通所介護事業
- いなわしろホーム 指定訪問入浴介護事業
指定介護予防訪問入浴介護事業
- いなわしろホーム 指定居宅介護支援事業
- 障害福祉サービス事業
- 猪苗代町よりの受託事業
 - ・訪問入浴サービス事業
 - ・在宅高齢者生活支援ショートステイ事業

〒969-2661 福島県耶麻郡猪苗代町大字三郷字寺南 7962 番地 1

TEL. 0242-66-4123 (代)

FAX. 0242-66-4027

TEL. 0242-66-4124 (デイサービスセンター、訪問入浴介護事業所)

TEL. 0242-66-4125 (居宅介護支援事業所)

FAX. 0242-66-4126 (居宅介護支援事業所)

I 社会福祉法人 猪苗代福祉会事業報告

平成 27 年 3 月 31 日現在

1. 理事会及び評議員会開催状況

- 第 1 回 : 平成 26 年 5 月 25 日(日)
- 第 2 回 : 平成 26 年 9 月 19 日(金)
- 第 3 回 : 平成 27 年 3 月 27 日(金)

2. 法人監事監査実施

- 年度監査 : 平成 26 年 5 月 20 日(火)
- 中間監査 : 平成 26 年 11 月 12 日(火)
- 八子宗平並びに由井忠幸両監事により実施。
渡辺公認会計士立ち会い。

3. 入所検討委員会開催状況

- 第 1 回 : 平成 26 年 6 月 6 日(金)
- 第 2 回 : 平成 26 年 9 月 4 日(木)
- 第 3 回 : 平成 27 年 2 月 16 日(月)

4. 福祉サービス第三者評価事業(社会福祉法人福島県社会福祉協議会)

- 説明会 : 平成 26 年 6 月 18 日(水)
- 自己評価 : 平成 27 年 3 月 2 日(月)

5. 職場環境向上研修事業「管理職の人材育成」(公益財団法人福島県介護労働安定センター)

平成 26 年 9 月 22 日(月)～平成 27 年 2 月 5 日(木) 計 6 回

6. 腰痛予防マネジメント(一般財団法人竹田健康福祉財団)

- 説明会 : 平成 26 年 7 月 31 日(火)
- 検討会 : 平成 27 年 3 月 18 日(水)

7. 労務管理相談(佐藤社会保険労務士)

平成 26 年 4 月 19 日(水)～平成 27 年 2 月 26 日(木) 計 10 回

8. 苦情受付

平成 26 年 11 月 23 日(日) 1 件 短期入所者

9. 社会貢献

社会福祉法人等利用負担軽減制度利用 1 件 長期入所者

Ⅱ 総務課事業報告

平成 27 年 3 月 31 日現在

1.人事状況

①求人実績

■求人

求人No	職種	雇用形態	求人数	登録先	備考
1	介護員	正職員	3	仁愛看護福祉専門学校	新卒求人
2			2	郡山健康科学専門学校	新卒求人
3		臨時職員	4	ハローワーク会津若松	内新規高卒求人1名
4		パート職員	3		-
5	看護員	正職員	1	ハローワーク会津若松	-
6		臨時職員	1		-
7		パート職員	2		-
8	機能回復訓練士	正職員	2	郡山健康科学専門学校	新卒求人
9			1	ハローワーク会津若松	-
10	介護補助員	パート職員	1	ハローワーク会津若松	障害者向け求人

■採用

応募総数7名 採用総数7名

求人No	選考日	応募数	採用数	職種	雇用形態	備考
10	7/11(金)	1	1	用務員	パート職員	委託訓練実施,10/20より雇用
照会	7/22(火)	1	1	介護員	臨時職員	10/1より雇用
1	8/29(金)	4	4	介護員	正職員	平成27年度新卒雇用
照会	12/5(金)	1	1	看護員	パート職員	12/1より雇用

平成27年度4月採用4名はいずれも仁愛看護福祉専門学校への求人からであり、介護実習として当施設で受け入れ、指導を行った人材である。

平成26年度4月採用者4名の内2名についても、介護実習生として受け入れた人材であり、実習をとおした人材の確保ができています。今後も実習が求人と繋がるよう、実習をマネジメントし、充実を図っていく。

また、利用者との適切な関わりや記録の重要性を鑑み、今年度から作文試験を実施し、応募者の介護観と文章力を審査している。

②出処進退

■入職状況

No	入職日	職種	雇用形態	人数	備考
1	4/1(火)	介護員	正職員	3	新規専門卒、介護福祉士所有
			臨時職員	1	新規高卒
2	10/1(水)	介護員	臨時職員	1	経験者
3	10/20(月)	介護補助員	パート職員	1	障害者委託訓練修了の後、雇用
4	12/1(月)	看護員	パート職員	1	看護師所有

■登用実績

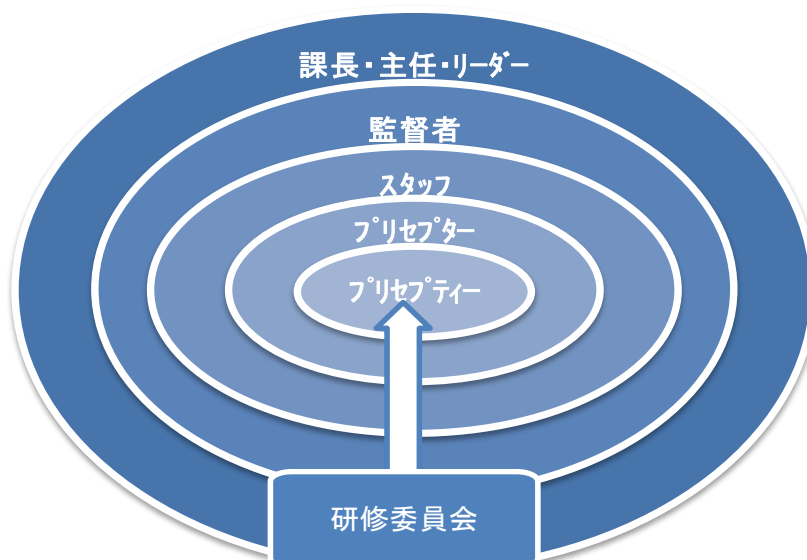
No	適用日	職種	人数	内容	事由
1	4/1(火)	介護支援専門員	1	正職員への登用	転換要件の充足
		主事兼生活相談員	1		
2	7/1(火)	介護員	2	特別昇給	対象資格の取得

■離職状況

No	離職日	職種	雇用形態	人数	事由	備考
1	8/31(日)	介護員	パート職員	1	定年後再雇用の終結	-
2	1/31(日)	看護師	正職員	1	自己都合	-
3	3/31(日)	介護員	臨時職員	1	契約満了	-
4	3/31(日)	看護員	パート職員	1	契約満了	-
5	3/31(日)	介護員	臨時職員	1	契約満了	-
6	3/31(日)	介護員	臨時職員	1	契約満了	-

③人材育成

■プリセプターシップ



○体制

新卒入職者4名(プリセプティー)を対象に、それぞれに主指導者となるプリセプターを付け、指導している。プリセプティーと職員間の調整・総括を行う監督者に生活支援領域リーダーを1名を配置している。

○取り組み状況

試用期間中は1ヶ月毎、試用期間後は3ヶ月毎に振り返りを行い、習熟度等を確認した。

有資格者の3名については、試用期間後夜勤業務にも入り、上期で業務・技術も習熟し、新規高卒者については、臨機応変な対応が取れるよう、自己マニュアルを作成してもらい確認しながら指導を行った。その他、各フロアの利用者についての課題抽出やケアの検討等をノートに記載してもらい、日頃から考察する習慣づけを行った。

プリセプターシップ開始から8ヶ月～11ヶ月で新任職員としては習熟したと判断し、今度の能力向上を期待した上で、プリセプターシップ修了となる。

○課題と反省

- ・提出物の期限がなかなか守られなかった。
- ・6ヶ月過ぎた頃から慣れが出てきており、主体的に業務に取り組む姿勢が減った。
- ・プリセプティーとプリセプターが同じシフトとなり、マンツーマンで指導できる体制が取れるのが理想であるが、困難であるため、統一したケア指導ができなかった。そのため、交換ノートを活用し、プリセプティーとプリセプター、プリセプターと監督者の意思の確認など情報の共有を図った。
- ・指導する職員の中に感情をコントロールしてかかわれない職員がいる。
- ・今回の反省を踏まえ、平成27年度より指導状況や習熟度を明確にし、把握するため各指導項目に対する単位数を設定し、実施していく。

■資格取得支援

No	対象資格	内容	対象者	備考
1	介護福祉士	受験対策講習受講助成 (1人につき4/6回義務免除)	2	全員合格
2	介護支援専門員	受験案内取り寄せ助成	8	2名合格
3	社会福祉主事	スクーリング助成(5日間義務免除)	1	-
4	共通	会議室開放による学習支援	-	-

■実習等受入状況

○内容別受入状況

No	期間	内容	派遣機関	受入事業所	受入数	延人数
1	6/2-26	介護実習Ⅱ	仁愛看護福祉専門学校	特養	3	48
2	6/9-20	雇用前実習	ふろんていあ、コパン・クラージュ	法人	1	10
3	6/25-26	福祉体験学習	東中学校	デイサービス	3	6
4	7/18-10/17	障害者委託訓練	福島県立テクノアカデミー会津	法人	1	58
5	7/22-24	サマーショートボランティア	猪苗代町社会福祉協議会	デイサービス	2	5
6	8/13-15	サマーショートボランティア	猪苗代町社会福祉協議会	デイサービス	1	3
7	8/22	社会体験研修	翁島幼稚園	特養	1	1
8	8/26-27	福祉体験学習	吾妻中学校	特養、デイサービス	7	14
9	9/1-10/23	介護実習Ⅲ	仁愛看護福祉専門学校	特養	3	84

10	9/10-11	職場体験学習	猪苗代中学校	デイサービス	1	2
11	9/15-19	介護等体験(教員免許)	福島県社会福祉協議会	デイサービス	1	5
12	11/10-14	介護等体験(教員免許)	福島県社会福祉協議会	デイサービス	1	5
13	6/20・27,7/11 9/10,11/20	臨床仏教士	長照寺	特養,デイサービス	1	5
計					26	246

○事業所別受入数

月	法人		特別養護老人ホーム		デイサービス		計	
	受入数	延人数	受入数	延人数	受入数	延人数	受入数	延人数
4	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	10	4	49	4	7	9	66
7	1	9	1	1	2	5	4	15
8	1	19	8	8	8	10	17	37
9	1	19	3	45	3	8	7	72
10	1	11	3	39	0	0	4	50
11	0	0	1	1	1	5	2	6
12	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	57	16	103	17	30	37	190

介護福祉士養成の介護実習については、実習生が目安をもって実習をスムーズに進められるよう、実習計画を立案し、随時振り返りを行い、指導を図った。

中高生が中心の体験学習は、高齢者施設が初めてという研修生が多く、また、期間が短いことから「楽しかった」と感じてもらい、体験後も興味関心を持ってもらえるよう原則デイサービスでの受け入れを図った。

なお、12月から3月は根雪となるため原則的に受け入れは行っていない。

■障害者委託訓練

No	障害種別	受入数	訓練期間	訓練内容	派遣機関	備考
1	精神障害	1	7/18-10/17 4-5H/日	環境整備等	福島県立 テクノアカデミー会津	10/20より雇用

○訓練方針

業務の習熟と1日1週間1ヶ月の仕事の組み立て方、就労にあたっての心構えを身に付ける。

○成果

真面目に丁寧に取り組んでおり、仕事の流れも覚え、次を考えながら動けるようになってきた。また、道具を作成したり、蜂の巣発見の報告など主体的な姿勢も見られた。

○課題

適切に時間配分ができないところが見られるが指示の出し方で改善できる。道具の適切な使用・管理については、都度指導が必要である。

○就労定着に向けて

委託訓練後パート職員として雇用している。

業務についておおまかに説明し、細かいところは任意で良い加減で仕事をするということは難しいようであり、そうしたところで他従業員と認識のずれ違いが生じ、不穏になったり、多少の欠勤があった。顔のこわばりや会話が噛み合わないなどの兆候が確認できるため、その際は、休憩や早退などの指示が必要である。

従業員に精神症状について周知し、あくまで精神障害者の雇用であることの理解を促し、関わり方の統一を図る。随時の声かけや励ましなど受容的な関わりの継続が必要である。また、随時の面談や業務マニュアル、タイムテーブルを用意することで定着を図っていく。

■役職員研修受講状況

施設外研修

<役員>

実施月日	研修名	場所	職種	人数	内容
4/9	平成26年度仁愛看護福祉専門学校入学式	仁愛高等学校	施設長	1	第36回看護科・第6回介護福祉科入学式
5/30	平成26年度福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会総会	ビッグバレットふくしま	施設長	1	平成25年度事業報告、監査結果報告、平成26年度事業計画について、震災に関する講演他
5/8	平成26年度会津地区老人福祉施設協議会総会	会津若松ワシントンホテル	施設長	1	平成25年度事業報告・決算報告の承認について平成26年度事業計画(案)収支予算(案)他
5/10	第4回脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会福島大会 腰痛予防対策について	会津若松市文化センター	施設長	1	介護施設における腰痛発生要因と対策在宅介護の負担軽減とQOLに関する事例報告
5/15-16	平成26年度東北ブロック老人福祉施設大会	ホテルトリボ リタン山形	施設長	1	コミュニケーション力、指導監査の現状と課題について
5/22-23	科学的介護実践講座第11期(平成26年度)介護力向上講習会第1回	ヘルサル半蔵門	施設長	1	身体的自立支援の基礎知識と理論・認知症の基礎理論
6/10	社会福祉法人等代表者会議	郡山ユラックス熱海	施設長	1	福祉事業関連法令等改正の周知について新会計基準への移行について等
6/27	平成26年度社会福祉法人経営者協議会総会及び社会福祉経営者セミナー	福島ビュホテル	施設長	1	平成25年度事業報告について他郡山市内における他職種連携に向けた取り組み
7/3	安全運転管理者講習会	ホテルリスレ猪苗代	施設長	1	安全運転管理者講習
7/10	平成26年度福祉サービスに関する苦情解決研修会	アビオスペース	第三者委員	1	苦情対応と説明責任、事業所としての苦情解決づくり、第三者委員とともに取り組む苦情解決
7/19	介護老人保健施設「ケアル猪苗代」記念式典	ケアル猪苗代	施設長	1	内覧会及び式典
7/30	平成26年度福祉サービスに関する苦情解決研修会	ビッグバレットふくしま	施設長	1	苦情対応と説明責任、事業所としての苦情解決づくり、第三者委員とともに取り組む苦情解決
8/20	福島県認知症ケア専門士会平成26年度第1回研修会	会津大学短期大学部	施設長	1	認知症高齢者の人と共に暮らす地域づくり認知症高齢者の在宅での生活を支える
10/21	高齢者住宅・施設の経営者セミナー	ホテルマツ	施設長	1	市場動向の変化、変化する制度への対応方法求められる高齢者住宅、成功事例とそのポイント
10/29	平成26年度社会副法人監事研修	郡山ユラックス熱海	施設長、監事	2	新社会福祉法人会計基準に伴う監事監査ポイント
11/13	現場発信!カンパニング	ビッグバレットふくしま	施設長	1	現場からの問題提起、意見交換他
11/19-21	社会福祉法人経営者研修会～経営管理コース～	ロフォス湘南	施設長	1	社会福祉法人を取り巻く状況と課題労務管理・財務管理他
11/27-28	平成26年度会津地区老施協施設長会議	至誠特別養護老人ホーム(東京都)	施設長	1	人材育成と施設経営マネジメントについて及び意見交換最新介護保険情勢等
12/8	社会福祉法人経営セミナー	TOC有明コンベンションホール(東京都江東区)	施設長	1	社会福祉法人を取り巻く状況とこれからの経営戦略
12/12	平成26年度社会福祉法人理事研修	郡山ユラックス熱海	施設長	1	今、社会福祉法人に求められるもの
2/19-20	平成26年度福島県社協老施協第2回総会並びに施設長研修会	母畑温泉「八幡屋」	施設長	1	高齢者施設におけるリスクマネジメント他・総会

3	2	平成26年度社会福祉法人経営者協議会 総会及び福祉人材確保推進セミナー	ビッグ・パレットふくしま	施設長	1	総会、職員育成の定着から見る経営戦略 ～職場の離職は職場の環境や雰囲気改善できる～
	4	平成26年度仁愛看護福祉専門学校卒業式	仁愛高等学校	施設長	1	第34回看護科・第5回介護福祉科卒業証書授与式
	5-6	平成26年度経営戦略セミナー	TOC有明コンベンションホール (東京都江東区)	施設長	1	社会福祉法人制度改革について、地域を支える社会 福祉法人と介護保険制度の展望を拓く他
	19-20	科学的介護実践口座第11期(平成26年 度)介護力向上講習会第6回	ベルサール半蔵門 (東京都千代田区)	施設長	1	事例検討 常食化

<職員>

実施月日	研修名	場所	職種	人数	内容	
4	16	介護支援専門員勉強会 (地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	4	ケース検討・情報交換等
5	8	平成26年度会津地区老人福祉施設協議会総会	会津若松ワシントンホテル	総務主任	1	平成25年度事業報告・決算報告の承認について 平成26年度事業計画(案)収支予算(案)について
	10	第4回脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会福島大会 腰痛予防対策について	会津若松市文化センター	介護員 機能回復訓練士	3	介護施設における腰痛発生要因と対策 在宅介護の負担軽減とQOLに関する事例報告他
	16	介護支援専門員勉強会 (地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	5	ケース検討・情報交換等
	22-23	科学的介護実践口座第11期(平成26年度)介護力向上講習会第1回	ベルサール半蔵門	介護員	1	身体的自立支援の基礎知識と理論・認知症ケアの基礎理論
	28	男女がともに働きやすい職場づくり推進セミナー	ビッグパレットふくしま	副施設長	1	改正男女雇用機会均等法施行規則等
6	9	平成26年度老人福祉施設職員研修Ⅱ	郡山ユラックス熱海	生活相談員	1	求められるコミュニケーション力 聴くスキル、傾聴力・質問力のポイント他
	13-14	身体拘束廃止に向けた実務看護職員研修	福島県看護会館みらい	看護師	1	身体拘束廃止に向けた視点と問題解決 身体拘束がなくなる介護の方法と工夫について
	16	介護支援専門員勉強会 (地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	3	ケース検討・情報交換等
	18-20	平成26年度社会福祉施設中堅職員研修	福島県総合社会福祉センター	生活相談員	1	中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 チームワークと問題解決、後輩指導他
	19	平成26年度ボランティア受入福祉施設等担当者研修	福島市アサヒ	生活相談員	1	施設におけるボランティアの役割と位置づけ ボランティア活動プログラムの作り方
	19-20	平成26年度甲種防火管理新規講習	アビオスペース	主任介護員	1	防火管理の意義と制度 火気管理、地震対策、危険物の管理等
	23	平成26年度算定基礎届事務講習会	アビオスペース	総務主任	1	算定基礎届と月額変更届、産休中と保険料免除 被扶養者資格の再確認について
	25-27	平成26年度社会福祉施設中堅職員研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	1	中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 チームワークと問題解決、後輩指導他
7	2	平成26年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導	会津大学	生活相談員	1	平成26年度指定障害福祉サービス事業者等指導指針について他
	8-10	平成26年度社会福祉施設初任者研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	1	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 福祉サービスの基本理念と倫理、対人関係等他
	11	平成26年度社会福祉法人事務長等研修	郡山ユラックス熱海	副施設長	1	社会福祉法において期待される社会福祉法人運営について、会計事務処理について他
	13	講演会「高齢者の終末期医療とケアについて考える」	会津稽古堂	副施設長	1	会津地方の慢性期医療を考える。 ～食べられなくなったらどうしますか?～
	14	平成26年度キャリアパス制度理解研修	郡山ユラックス熱海	第一課長	1	社会福祉法人における経営と人事施策 キャリアパスの活用と運営を通じた組織活性化等
	16-18	平成26年度社会福祉施設初任者研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	1	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 福祉サービスの基本理念と倫理、対人関係等他
	17-18	科学的介護実践口座第11期(平成26年度)介護力向上講習会第2回	ベルサール半蔵門	介護員	1	事例検討 認知症ケア
	17-18	平成26年度老人福祉施設協議会介護職員研修会(4年未満)	東山温泉御宿 東鳳	介護員	1	つらい仕事からやさしい仕事へ 北欧式トランスファー介助方
	18	介護支援専門員勉強会 (地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	3	生活保護について(会津保福 生保担当者)
	22	平成26年度福祉サービス第三者評価研修会	福島県ハイテクプラザ	副施設長 主任看護師	2	新・福祉サービス第三者評価基準ガイドラインの理解について、第三者評価自己評価の作成
	22-24	平成26年度社会福祉施設初任者研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	1	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 福祉サービスの基本理念と倫理、対人関係等他
	29-31	平成26年度社会福祉施設初任者研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	1	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 福祉サービスの基本理念と倫理、対人関係等他
8	11-12	平成26年度介護支援専門員専門研修Ⅰ・更新研修(専門研修Ⅰ)	ビッグパレットふくしま	介護支援専門員	1	介護保険制度論 マネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理他
	18-20	平成26年度社会福祉施設初任者研修	福島県総合社会福祉センター	介護員	1	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 福祉サービスの基本理念と倫理、対人関係等他
	19	介護支援専門員勉強会 (地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	4	ケース検討・情報交換等
	22-23	平成26年度地域介護専門職員研修・排泄ケア研修(施設編)【前期】	福島県男女共生センター	介護員	1	排泄ケアに必要な基礎知識とアセスメント 認知症高齢者の排泄ケア、排泄ケアのアセスメント他
	29	雇用管理者責任講習	アビオスペース	第二課長	1	雇用管理総論

9	3-4	平成26年度東北ブロッコ老人福祉施設研究会	ビックバレットふくしま	総務主任 リーダー介護員	4	人材確保等、介護現場における医療的・科学的介護の実践、自立健康生きがいづくり他
	8	平成26年度会津地区老協第1回テーマ別研修会(口腔ケア)	会津若松ワシントンホテル	介護員 看護員	4	口から元気!～めざせ口腔ケアの達人～
	10	平成26年度特定給食施設等講習会	会津大学短期大学部	管理栄養士	1	衛生管理について、各給食施設における栄養管理の実践について、日本人の食事摂取基準について
	9-11	平成26年度介護支援専門員専門研修Ⅰ・更新研修(専門研修Ⅰ)	ビックバレットふくしま	介護支援専門員	1	対人個別援助技術(講義・演習)保健医療福祉の基礎理解他
	12-13	平成26年度地域介護専門職員研修・排泄ケア研修(施設編)【後期】	福島県男女共生センター	介護員	1	排泄ケアにおける問題の捉え方、目標の設定評価について、グループ討議、発表とディスカッション
	18-19	科学的介護実践講座第11期(平成26年度)介護力向上講習会第3回	ベルサール半蔵門	介護員	1	事例検討 認知症ケア
	19	介護支援専門員勉強会(地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	3	ケース検討・情報交換等
	24	平成26年度キャリアパス制度導入研修	ビックバレットふくしま	総務主任	1	キャリアパス制度運用事例 規模やサービス区分に見たキャリアパスの運用ポイント
	25	平成26年度キャリアパス制度導入研修	ウエル福島	機能回復訓練士	1	キャリアパス制度運用事例 規模やサービス区分に見たキャリアパスの運用ポイント
10	4-5	平成26年度介護福祉士実習指導者講習会(第2回)①	かんぼの宿	介護員	1	介護の基本、実習指導の理論と指導方法
	6	平成26年度社会福祉施設栄養士研修	ビックバレットふくしま	管理栄養士	1	栄養ケアマネジメント研修(応用編・理論編・実技編)
	6-7	平成26年度自衛消防隊員教育(第63期)	福島県消防学校	介護員	1	応急救護・機器取扱訓練、意見交換会 救出・救助訓練
	7-9	平成26年度介護支援専門員専門研修Ⅱ	ビックバレットふくしま	介護支援専門員	3	介護支援専門員の課題 サービス担当者会議演習、事例研究
	7-11	平成26年度認知症介護実践リーダー研修	福島県男女共生センター	介護員	1	リーダーの役割、認知症介護の理念の共有 人材育成、認知症介護のアプローチ他
	8	福島大学特別講演講座【リーダー育成講座】	アビオスペース	副施設長	1	人を大切にする企業から学ぶこらからの中小企業経営
	8-9	平成26年度主任介護職員研修会	裏磐梯ロイヤルホテル	介護員	1	介護現場における定着率の向上、やる気作り リーダーシップのコツ(Ⅰ)(Ⅱ)
	18-19	平成26年度介護福祉士実習指導者講習会(第2回)②	かんぼの宿	介護員	1	実習指導の方法と展開、実習指導における課題への対応、スーパービジョンの意義他
	20	地域ケア会議(地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	5	平成27年度介護保険制度改正について
	20-24	平成26年度認知症介護実践リーダー研修【他施設実習】	特別養護老人ホーム 笑風苑	介護員	1	他施設実習
	25	福島大学特別講演講座【第1回】	ホテル福島グリーンパレス	副施設長	1	Womanの時代～女性の感性を活かした企業経営～女性ならではの働きやすい職場づくり他
	27-28	平成26年度介護支援専門員研修会	ホテル辰巳屋	介護支援専門員	1	施設ケアマネジメントの基本的枠組みと支援プロセス全体像、事故事例からみるリスクマネジメントの課題他
11	7	平成26年度介護ブリアビーター模擬(新人職員向けOJT)研修	福島県総合社会福祉センター	総務主任 機能回復訓練士	2	育成指導するために、若手の立場になって考える OJTとは、OJTの進め方、ケーススタディ他
	14	平成26年度福祉サービスに関する苦情解決研修会	郡山ユラックス熱海	介護員	1	苦情解決制度の意義と本質 安全配慮義務について、苦情申出人の理解他
	14	平成26年度生活相談員研修会	ホテルザンルート白河	生活相談員	1	生活相談員の役割を再考する ～利用者と事業所のかけ橋となるために～
	17-18	平成26年度職場研修担当職員研修	福島県総合社会福祉センター	総務主任	1	こらからの福祉人材育成と職場研修、職場研修の考え方と推進方法、OJT活性化施策の推進他
	18	地域ケア会議(地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	3	ケース検討・情報交換等
	20-21	科学的介護実践講座第11期(平成26年度)介護力向上講習会第4回	ベルサール半蔵門(東京都千代田区)	介護員	1	食事傾向常食化の基礎理論(講義) 事例検討 認知症ケア
	21	福島県老協災害時施設相互応援協定に基づく避難訓練	ハモニニー本郷・宮川荘	介護員	2	会津地方で大雨が続く各地で災害が起きはじめる…災害想定にて避難訓練実施
	22	福島大学特別講演講座【第2回】	ホテル福島グリーンパレス	副施設長	1	男性社員が心がけたい女性が働きやすい職場づくり
	22	在宅緩和ケア交流研修会・意見交換会	会津医療センター	介護支援専門員	1	鍼灸による緩和ケア、終末期の看護 鎮痛貼付剤について他
	25-26	平成26年度介護職員(4年以上)研修会	ホテル福島グリーンパレス	介護員	1	摂食嚥下障害治療とリハビリテーション 口腔ケアの目的と実技
	27	公開講演会(福島県介護支援専門員協会)	ビックバレットふくしま	介護支援専門員	2	ケア業務の効率化について
12	12	男女がともに働きやすい職場づくり推進セミナー	アビオスペース	総務主任	1	改正パートタイム労働法 改正次世代育成支援対策ポイントと両立支援等助成金
	16-18	社会福祉法人経営者研修会～経営管理コース～	フォクス湘南	副施設長	1	苦情を活用してサービスの質の向上を図る 業務標準とプロセス管理、おもてなし経営他
	18	介護支援専門員勉強会(地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	3	猪苗代町障害福祉について
	19	平成26年度認知症介護実践リーダー研修【実習報告会】	福島県男女共生センター	介護員	1	実習報告会
1	16	介護支援専門員勉強会(地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	3	ケース検討・情報交換等
	19-22	平成26年度介護支援専門員実務研修【前期】	ビックバレットふくしま	介護員	1	介護保険制度の理念と介護支援専門員 要介護認定等の基礎、介護支援サービスの基本他

1	22-23	科学的介護実践口座第11期(平成26年度)介護力向上講習会第5回	ベルサール半蔵門 (東京都千代田区)	介護員	1	事例検討 常食化
	27-30	平成26年度介護支援専門員実務研修【前期】	ビッグ・バレットふくしま	総務主任	1	介護保険制度の理念と介護支援専門員 要介護認定等の基礎、介護支援サービスの基本他
	27-30	平成26年度介護支援専門員再研修【前期】	ビッグ・バレットふくしま	介護員	1	介護保険制度の理念と介護支援専門員 要介護認定等の基礎、介護支援サービスの基本他
	29	平成26年度仁愛看護福祉専門学校ケーススタディ発表会	仁愛看護福祉専門学校	機能回復訓練士	1	ケーススタディ発表会
2	12	平成26年度権利擁護研修会	ビッグ・バレットふくしま	生活相談員	1	経済的虐待を防ぐために、頻発するリフォーム詐欺 財産管理ではない成年後見制度
	12	法改正セミナー	郡山市市民交流プラザ	主事兼生活相談員	1	制度大改正-介護保険事業に“今”求められる対応-
	16	地域77会議 (地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	6	平成27年度介護保険制度改正について
	17	平成26年度会津地域要介護認定調査従事者(現役)研修会	会津大学	介護支援専門員	7	公平・公正かつ適切な認定調査を実施するために必要な知識・技術の習得向上
	24-26	平成26年度介護支援専門員実務研修【後期】	ビッグ・バレットふくしま	介護員	1	介護支援サービスの展開技術、基礎技術他
3	3-5	平成26年度介護支援専門員実務研修【後期】	ビッグ・バレットふくしま	総務主任	1	介護支援サービスの展開技術、基礎技術他
	3-5	平成26年度介護支援専門員再研修【後期】	ビッグ・バレットふくしま	介護員	1	介護支援サービスの展開技術、基礎技術他
	5	学校法人恩知会 謝恩会	会津若松ワシントンホテル	副施設長	1	謝恩会
	9	平成26年度介護アドバイザー模擬 (新人職員向けOJT)研修	ビッグ・バレットふくしま	介護員	1	OJTトレーナーの立場になって考える、OJTとは何か OJT監督者の役割確認、育成計画を立てる 他
	16	平成27年度介護保険制度改正説明会	会津大学	総務主任 介護支援専門員 介護員 主事兼生活相談員	5	平成27年度介護報酬の改定について他
	17	介護支援専門員勉強会 (地域包括支援センター)	猪苗代町役場	介護支援専門員	3	平成26年度振り返り、平成27年度計画について 情報交換
	17	平成26年度福祉の職場内定者向け導入研修	会津若松ワシントンホテル	介護員	3	福祉・介護の仕事の魅力とやりがい〜先輩職員から話を聴く〜 ビジネスマナー、利用者とのコミュニケーション、人間関係とチームワークについて
	19-20	科学的介護実践口座第11期(平成26年度)介護力向上講習会第6回	ベルサール半蔵門 (東京都千代田区)	介護員	1	事例検討 常食化
	20	平成27年度介護福祉科講師会及び実習指導者会	仁愛看護福祉専門学校	介護員	1	実習指導者会
	20	医療法人のための経営戦略セミナー	ホテルハマツ	第一課長 総務主任	2	【第一部】2015年介護の専門家からみた高齢者住宅の現状と今後
4	15	平成26年度会津地区老協第2回テーマ別研修会(看取り)	ルネサンス中ノ島	介護支援専門員 看護師	2	看取りについて考える

施設内研修

実施月日	研修名	場所	職種	人数	内容
4	1	新任職員研修	各担当者	4	認知症ケア・生活リハビリ・口腔ケア・排泄ケア・ターミナルケア・栄養食事形態・OA取扱い・労働安全衛生
	30	職員全体会	嘱託医 今田かおる 作業療法士 岡本宏二	66	経管栄養とターミナルケアについて 生活介護リハビリについて
5	8	紙おむつ勉強会	白十字 荒井	—	紙おむつ勉強
6	27	新任職員研修Ⅱ	各担当者	4	事故対応マニュアルについて、施設サービス計画について、労働安全衛生教育について、その他
9	22	職場環境向上研修①(全6回)	介護労働安定センター福島支所支局長 阿部信行	14	コミュニケーション力アップ、職員が誇れる職場づくり
	24・25 26・29	職員全体会 分会(全4回)	副施設長 一ノ瀬慶子 総務課主任 宮澤重嗣	89	就業規則、臨時職員就業規則、育児・介護休業等に関する規程の改正・改定点について
10	1	新任職員研修	各担当職員	2	事故対応マニュアルについて、施設サービス計画について、労働安全衛生教育について、その他
	30	度職場環境向上研修②(全6回)	介護労働安定センター福島支所支局長 阿部信行	14	コミュニケーション力アップ、職員が誇れる職場づくり
11	6	除雪講習会	福島建機株式会社	5	除雪講習会
	10	職員会11月①	副施設長 機能回復訓練士 第二事業課課長	35	全職員面接、水分77推進状況、感染症予防他
	12	職員会11月②	副施設長 機能回復訓練士 第二事業課課長	25	全職員面接、水分77推進状況、感染症予防他
	13	AED取扱講習会	総合警備保障(アールソック)	15	AED取扱講習会 渡部鍾夫復命(10/6-7日衛消防隊員教育)

11	14	職員会11月③	副施設長 機能回復訓練士 第二事業課課長	全職員	21	全職員面接、水分ケア推進状況、感染症予防他
	19	職場環境向上研修③(全6回)	介護労働安定センター福島 支所支局長 阿部信行	管理職 主任・リーダー	14	コミュニケーション力アップ、職員が誇れる職場づくり 1日(日中3時間以内)×6回以内(6日間以内の研修)
12	8	職場環境向上研修④(全6回)	介護労働安定センター福島 支所支局長 阿部信行	管理職 主任・リーダー	13	コミュニケーション力アップ、職員が誇れる職場づくり 1日(日中3時間以内)×6回以内(6日間以内の研修)
	15	職員会12月①	副施設長 第一事業課課長	全職員	24	看取りケアについて、看取り加算について
	19	職員会12月②	副施設長 第一事業課課長	全職員	34	看取りケアについて、看取り加算について
	22	職員会12月③	副施設長 第一事業課課長	全職員	22	看取りケアについて、看取り加算について
1	8	職員会1月①	看護師 居宅介護支援領域主任	全職員	27	身体拘束廃止伝達研修、ケアプラン全般について
	14	職員会1月②	看護師 居宅介護支援領域主任	全職員	27	身体拘束廃止伝達研修、ケアプラン全般について
	16	職員会1月②	看護師 居宅介護支援領域主任	全職員	21	身体拘束廃止伝達研修、ケアプラン全般について
	16	職場環境向上研修⑤(全6回)	介護労働安定センター福島 支所支局長 阿部信行	管理職 主任・リーダー	12	コミュニケーション力アップ、職員が誇れる職場づくり 1日(日中3時間以内)×6回以内(6日間以内の研修)
2	5	職員会2月①	リーダー・看護師 副施設長	全職員	38	認知症リーダー研修伝達、サービス管理研修伝達・手順書の 手法/雇用管理・定年について
	5	新任職員等3年未満研修会	介護労働安定センター福島 支所支局長 阿部信行	入職3年未満の 全職員他	20	コミュニケーション力アップ
	5	職場環境向上研修⑥(全6回)	介護労働安定センター福島 支所支局長 阿部信行	管理職 主任・リーダー	12	コミュニケーション力アップ、職員が誇れる職場づくり 1日(日中3時間以内)×6回以内(6日間以内の研修)
2	6	職員会2月②	リーダー・看護師 副施設長	全職員	21	認知症リーダー研修伝達、サービス管理研修伝達・手順書の 手法/雇用管理・定年について
	9	職員会2月③	リーダー・看護師 副施設長	全職員	20	認知症リーダー研修伝達、サービス管理研修伝達・手順書の 手法/雇用管理・定年について
3	5	職員会3月①	各担当職員 副施設長	全職員	30	職場環境向上研修伝達 身体拘束について
	12	職員会3月②	各担当職員 副施設長	全職員	25	職場環境向上研修伝達 運営規程の一部改正について
	13	リフトデモ	白十字	全職員	30	リフトの取扱い説明
	18	新任職員研修 (27年度採用者)	白十字、各担当職員 介護労働安定センター福島 支所支局長 阿部信行	H27年度内定者 介護員	3	排泄ケア コミュニケーション力アップ 新任職員研修
	19	新任職員研修 (27年度採用者)	白十字、各担当職員 介護労働安定センター福島 支所支局長 阿部信行	H27年度内定者 介護員	3	新任職員研修 居宅介護同行訪問
	19	職員会3月③	各担当職員 副施設長	全職員	20	職場環境向上研修伝達 運営規程の一部改正について
	30	臨時職員会3月①	総務課主任	全職員	33	猪苗代福祉会就業規則について 猪苗代福祉会給与規程について
	31	臨時職員会3月②	総務課主任	全職員	45	猪苗代福祉会就業規則について 猪苗代福祉会給与規程について

講師派遣

実施月日	派遣事業名	場所	職種	内容
4 15	平成26年度機能訓練事業①	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	基本動作、日常生活動作、運動療法、レクリエーション等の指導
5 13	平成26年度機能訓練事業②	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	基本動作、日常生活動作、運動療法、レクリエーション等の指導
6 17	平成26年度機能訓練事業③	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	基本動作、日常生活動作、運動療法、レクリエーション等の指導
	27 猪苗代町老人クラブ 料理講習会【第一回】	猪苗代町農村環境改善センター	介護支援専門員	高齢者健康づくり、一人暮らしや寝たきりの高齢者へ料理情報提供
7 22	平成26年度機能訓練事業④	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	基本動作、日常生活動作、運動療法、レクリエーション等の指導
	23 猪苗代町老人クラブ 料理講習会【第二回】	猪苗代町農村環境改善センター	介護支援専門員	高齢者健康づくり 一人暮らしや寝たきりの高齢者へ料理情報提供
	23 先輩の体験を聞く会	仁愛看護福祉専門学校	介護員	在校生との懇談、学校生活や介護実習 共通試験及び就職等について体験談講和
8 19	平成26年度機能訓練事業⑤	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	基本動作、日常生活動作、運動療法、レクリエーション等の指導
9 9	平成26年度機能訓練事業⑥	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	基本動作、日常生活動作、運動療法、レクリエーション等の指導
10 21	平成26年度機能訓練事業⑦	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	基本動作、日常生活動作、運動療法、レクリエーション等の指導
11 10	猪苗代町老人クラブ 料理講習会【第一回】	猪苗代町農村環境改善センター	管理栄養士	高齢者の健康づくりと長寿に結びつく料理講習

11	18	平成26年度機能訓練事業⑧	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	基本動作、日常生活動作、運動療法、レクリエーション等の指導
	26	猪苗代町老人クラブ 料理講習会【第二回】	猪苗代町農村環境改善センター	管理栄養士	高齢者の健康づくりと長寿に結びつく料理講習
12	9	平成26年度機能訓練事業⑨	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	基本動作、日常生活動作、運動療法、レクリエーション等の指導
1	20	平成26年度機能訓練事業⑩	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	基本動作、日常生活動作、運動療法、レクリエーション等の指導
2	17	平成26年度機能訓練事業⑪	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	基本動作、日常生活動作、運動療法、レクリエーション等の指導
3	17	平成26年度機能訓練事業⑫	猪苗代町農村環境改善センター	機能回復訓練士	基本動作、日常生活動作、運動療法、レクリエーション等の指導

2.労務管理状況

①私傷病欠勤状況

No	期間	職種	業務配慮
1	8/5-31	介護員	復帰後の夜勤業務の低減
2	8/8-16	介護員	-
3	8/19-9/11	介護支援専門員	復帰後の柔軟なシフト勤務
4	9/12-24	看護員	病欠前後の夜勤業務の低減
5	11/22-28	介護員	-
6	12/17-26	介護支援専門員	復帰後の柔軟なシフト勤務
7	27/1/1-3/31	介護員	-
8	27/1/6-31	介護員	復帰後の夜勤業務の低減
9	27/2/27-3/5	介護員	-
10	27/3/1-6/4	介護員	27/2/9-28の夜勤免除

②労働災害発生状況

No	発生日	職種	発生状況	業務配慮
1	5/10	介護員	ハサミの使用過誤	-
2	7/12	介護員	後片付け時の転倒	一定期間の夜勤業務の低減

③産休育休等取得状況

No	内容	期間	職種	備考
1	育児休業	26/2/13-27/3/31	介護員	延長し、27/4/1より復帰
2	産前産後休業/育児休業	27/11/6-28/1/5	機能回復訓練士	所定産休使用
3	産前産後休業/育児休業	27/11/29-28/1/7	介護員	所定産休使用
4	子の看護休暇	-	-	2名
5	運転業務免除	26/12/10-27/6/23	生活相談員	懐妊により

④腰痛予防への取り組み

■腰痛予防マネジメント

○内容

一般財団法人竹田健康財団が開発した腰痛予防マネジメント手法のモデル事業として、腰痛の原因を調査し、対策を立て、実施し、腰痛予防に法人全体で取り組む。

○進捗

安全衛生委員会の部会として腰痛予防ヘッジチームを立ち上げ、領域会議にて目的等を周知。8-9月にかけて直接処遇職員を対象に腰痛アンケートを実施、集計し、先方に提出するとともに、調査・集計にあたっての改善点を提案する。

先方で集計結果を分析し、先方を含め今後の進め方を委員会にて確認する。その後、委員会にて腰への負担が大きい作業項目を2つ選定し、それぞれについて原因・改善策・達成期限を話し合い、平成27年4月より改善策に取り組む予定である。

○今後の予定

改善策の実行。

■ラジオ体操

○内容

ラジオ体操をとおして準備体操と気分転換を行い、心身への負担を軽減する。

○方法

毎日午前中2回、午後1回ラジオ体操を放送する。

Ⅲ 第一事業課事業報告

平成 27 年 3 月 31 日現在

1.フロアケア

○体制

4月より6つある入所空間を「さぎそう」「さくら・ななかまど」「しゃくなげ」「あじさい・ひまわり」の4つのフロアに区切り、それぞれのフロアに固定した職員を配置し、フロア利用者に合ったケアを提供する。

○目的

利用者と職員が関わりを多く持つことで、信頼関係を築き、楽しみや生きがいを持って笑顔で過ごせる場所ときめ細やかなケアを提供する。

○取り組みの効果

- ・勤務日は必ず担当利用者との会話の時間を持つなど、居室担当者の責任意識の向上につながっている。
- ・同一のフロア職員がケアすることで、利用者や家族が気軽に接することができ、フロア内での利用者把握がしっかりできるようになってきている。
- ・それぞれのニーズに沿った個別ケアの提供が徐々にではあるができるようになってきており、レクリエーションや趣味活動の時間も徐々に増えてきている。
- ・毎月1回以上フロア会議を行い、利用者一人ひとりのニーズや現状、課題を話し合い、共有するなど、利用者について考える機会が増えたことで、様々な問題解決につながっている。
- ・7月から夜勤者が1名増員されたことで、各フロアから1名ずつ夜勤者を出し、対応している。各フロア職員が夜勤業務を行うことで変化の早期発見や事故防止にもつながってきている。

2.個別ケア

①介護力向上講習会

○内容

全国老人福祉施設協議会主催の介護力向上講習会(6回/年)を受講し、主に排泄ケア、水分摂取強化に取り組んでいる。

毎回宿題があり、取り組む利用者を選定し、「アセスメント→プラン立案→プラン実施→結果」の一連を提出している。

○取り組みの効果

・ホリウムのある宿題であるため、全職員で協力する必要があるため、皆で参加し、考える機会になっている。

・利用者を選定して行っているため、水分摂取強化の時間・量など細かに話し合い、具体的にに取り組むことができている。

・4月より6名の改善プランを立案、実施しているため、課題の見つけ方や具体的な対策について思考力が高まり、応用力がついてきている。

■排泄ケアの取り組み状況

		取り組み前		取り組み後	移行数
排泄 状況	1F	オムツ排泄	→	リハビリパンツ(日中)使用でのトイレ排泄	7
		リハビリパンツ使用でのトイレ(Pトイレ)排泄		布パンツ使用でのトイレ排泄	12
	2F	オムツ排泄または リハビリパンツ使用でのトイレ排泄		布パンツ使用でのトイレ排泄	10

昨年同時期には、オムツをはずしている利用者は1人もいなかったが、取り組み後トイレで排泄できるようになった利用者は29名に増えている。利用者からは布パンツで蒸れがなく、気持ちが良いとの声や、大便をトイレ出きて嬉しいとの声も聞かれた。引き続き、家族の協力も得ながら進めていく。

また、リハビリにより立位や歩行動作が改善され、トイレ排泄へ移行できる方も増えているため、リハビリと並行して排泄ケアを進めていく必要がある。

■水分摂取強化の取組状況

○共通目標:食事以外で1,500cc/日

		取り組み前		取り組み後	目標達成者数	備考
摂取 平均 量	1F	836cc	→	1,196cc	6/49名	平均1,000cc/日未満13名。
	2F	1,136cc		1,526cc	14/20名	平均1,000cc/日未満3名。

共通目標はあるものの、各利用者の状況をアセスメントし、個別の目標を設定し水分摂取強化に取り組んでいる。摂取量が伸び悩んでいる方は、嗜好も踏まえ全員の目標達成を図っていく。

夏場多かった脱水等の改善と尿路感染症、認知症悪化等の予防につながり、入院者が減少した。下剤使用者が減ったり、下剤の量が減ったりした。自然排便が可能になった利用者もいた。

1Fに比べて2Fは身体状況等のレベルが高いため、比較的容易に摂取量が増えたが、1Fは飲み込み等の問題で摂取できない方も多いため、試行錯誤しながら取り組んでいる。

②生活介護リハビリの取り組み状況

○内容・目的

一般社団法人「ふくしまをリハビリで元気にする会」理事長で作業療法士である岡本先生に月4回訪問していただき、介護技術や身体の仕組みなどを教わりながら、利用者一人ひとりにあった体位交換、車椅子への移乗方法、嚥下困難者への対応の方法について学んでいる。

先生は全国で講演や他施設での指導を行っているが、当施設に対し「取り組み姿勢がとても良く、その結果様々な改善が見えてきている」との声をいただき、職員も一生懸命に取り組んでいる。

○取り組みの効果

・体位交換の仕方を変えただけで、関節拘縮の改善ができた。それによりオムツ交換時に股関節が接し、介護しづらかった利用者が1週間後には股関節がしっかりと開くようになり、ご本人、職員ともに負担軽減することができたケースがあった。また、職員の腰痛予防にも効果があった。

・嚥下困難者に対して食前マッサージを施行したことにより摂食動作が改善できたケースがあり、職員も指導をもとに応用できるようになった。

③口腔ケアの取り組み状況

○内容

毎月1回の歯科往診、毎月4回の歯科衛生士によるケアを行っている。職員に対しては、利用者一人ひとりの口腔ケアの方法と磨き残しや舌、口腔内の状況等重要なポイントについて指導を行っており、フロア毎に担当者をつけ、フロア毎に他の職員へ申し送りをしている。

○取り組みの効果

・以前は口臭が気になる利用者が多かったが、現在はほとんどいなくなっている。

・口腔内が清潔になり、誤嚥性肺炎のリスクが激減し、以前と比べ肺炎による入院者が減少している。

・各職員が直接歯科衛生士から指導を受けいているため、口腔ケア技術が向上している。

④その他

■口腔体操の取り組み状況

○内容

以前は機能回復訓練士が3フロアで食事前に口腔体操を行っていたが、徐々に介護員に移行し、7月からは完全に各フロア職員で口腔体操を行えるようになった。

○取り組みの結果

フロア職員で口腔体操を行えるようになったことで、機能回復訓練士による個別リハビリの時間が増えたことで充実してきている。その結果、利用者の機能向上につながっている。

■カラオケの導入

○内容

1F・2Fにそれぞれ1台配備し、レクリエーションに活用している。

○導入の結果

余暇時間に介護員がリハビリ体操をすることができるようになった。カラオケも行えるようになり、特にショートステイの利用者から好評をいただいている。

1 生活支援領域

1. 出身地別入所・退所状況

性別 市町村別	現 員			平成26年度の異動状況					
				入 所			退 所		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
猪 苗 代 町	13	54	67	4	11	15	4	13	17
磐 梯 町	0	0	0	0	0	0	1	1	2
会津美里町	1	0	1	0	0	0	0	0	0
会津若松市	0	4	4	0	1	1	0	0	0
会津坂下町	0	1	1	0	0	0	0	0	0
北 塩 原 村	2	2	4	1	0	1	0	0	0
郡 山 市	0	2	2	0	1	1	0	0	0
いわき市（避難者）	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合 計	16	63	79	5	13	18	5	15	20

2. 月別入所・退所状況

性別 月別	入 所			退 所		
	男	女	小計	男	女	小計
平成26年 4月	1	2	3	1	2	3
5月	1	0	1	2	2	4
6月	1	3	4	0	3	3
7月	0	3	3	1	0	1
8月	0	2	2	0	2	2
9月	0	0	0	0	0	0
10月	1	0	1	1	0	1
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	1	1	0	3	3
平成27年 1月	0	1	1	0	1	1
2月	1	1	2	0	1	1
3月	0	0	0	0	1	1
合 計	5	13	18	5	15	20

3. 退所理由

区別 \ 性別		男	女	計
家族引取り		0	0	0
他施設へ		0	0	0
長期入院		1	1	2
死 亡	施設内(老衰)	0	0	0
	施設内(看取)	1	9	10
	入 院 後	3	5	8
	自 宅	0	0	0
そ の 他		0	0	0
計		5	15	20

4. 利用者性別・年齢別構成

○最高齢103歳 ○最年少57歳 ○平均年齢89.2歳（男性83.8歳/女性90.6歳）

年齢別 \ 性別	男	女	計	年齢別 \ 性別	男	女	計
65歳未満	1	0	1	85～89歳	2	12	14
65～69歳	0	0	0	90～94歳	4	23	27
70～74歳	0	2	2	95～99歳	1	9	10
75～79歳	4	2	6	100歳以上	0	6	6
80～84歳	4	9	13	計	16	63	79

5. 日常生活状況

ADL内容	食 事			起 坐			立ち上がり			排 泄			着脱衣			入 浴		
	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助
実数(人)	18	39	24	19	20	42	10	29	41	1	35	45	3	29	49	0	22	59
割合(%)	22	48	30	23	25	52	13	36	51	1	43	56	4	36	60	0	27	73

ADL内容	歩 行				体位変換			車椅子使用		
	自 立	歩 行 器 等	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 操	一 部 介 助	全 部 介 助
実数(人)	2	7	22	57	27	19	35	12	23	39
割合(%)	3	9	26	71	33	23	44	15	28	48

入浴形態	個 浴	チェ ア イ ン バ ス	機 械 浴
実数(人)	32	19	28
計	79		

6. 機能回復訓練状況

(1) 長期入所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実人数	80	79	79	80	82	81	79	79	79	79	79	79	955
延回数	1,401	1,167	888	1,071	1,014	993	992	948	1029	1026	942	960	12,431

(2) 短期入所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実人数	66	72	78	72	75	78	74	72	72	63	60	65	847
延回数	447	510	409	462	410	451	437	414	440	386	403	436	5205

7. 医療保険加入状況

性別 \ 保険別	後期高齢者医療	共済保険	生活保護	計	重度医療受給者	精神障害者手帳	身体障害者手帳	特定疾患医療受給者証
男	16	0	0	16	7	1	9	1
女	60	1	2	63	14	0	21	2
計	76	1	2	79	21	1	30	3

8. 身体障害者手帳所持状況

性別 \ 種別	所持							所持計	不所持計
	1級1種	2級1種	2級2種	3級1種	3級2種	4級2種	6級2種		
男	4	3	1	0	0	1	1	10	6
女	11	5	0	1	1	2	1	21	42
計	15	8	1	1	1	3	2	31	48

9. 入所前状況

性別 \ 内訳	在宅	病院	老健	施設	その他	計
男	4	9	2	1	0	16
女	25	16	21	1	0	63
計	29	25	23	2	0	79

10. 身元引受人状況

続柄	男	女	計
妻（夫）	0	2	2
子供	13	57	70
兄弟・姉妹	1	0	1
従兄弟・従姉妹	0	0	0
甥・姪	2	2	4
叔父・叔母	0	0	0
知人・その他	0	1	1
孫	0	1	1
計	16	63	79

11. 年金受給状況

※併給者5名

種別 性別	国民年金	厚生年金	共済年金	障害年金	無年金	家 族 後見人管理	不 明	計
男	1	0	0	0	0	13	0	14
女	5	5	1	1	2	56	0	70
計	6	5	1	1	2	69	0	84

12. 要介護度状況

平均要介護度4.30（男性4.00/女性4.38）

区 分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	1	4	5	6	16
女	0	4	9	19	31	63
計	0	5	13	24	37	79

13. ボランティア受入状況（奉仕作業、慰問等）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計	6	7	4	2	1	87	24	8	84	31	1	2	257

今年度は運動会・夏まつり・クリスマス会が悪天候により屋内で開催する等の理由で、ボランティア受け入れ数が昨年度と比べ大幅に減っている。

14. 家族面会状況

※続柄には義理を含む

続柄 月	配偶者	子	孫・ひ孫	親戚	その他 (友人等)	計	1日平均
4	12	373	74	23	7	489	16.30
5	14	419	98	45	0	576	18.58
6	13	339	56	33	2	443	14.77
7	15	360	49	39	3	466	15.03
8	33	418	246	61	22	780	25.16
9	24	326	75	62	13	500	16.67
10	23	350	77	43	10	503	16.23
11	23	398	123	45	11	600	20.00
12	7	316	75	23	18	439	14.16
1	18	364	89	27	8	506	16.32
2	13	285	44	36	9	387	13.82
3	21	266	42	9	11	349	11.26
計	216	4,214	1,048	446	114	6,038	16.54
昨年度	286	3,476	909	591	27	5,289	14.49
前年比	-70	738	139	-145	87	749	2.05

入所時の面会の呼びかけや定期的な面会が増加に影響していると思われる。また、今年度は感染症等による面会の制限が無かった為、例年見られる冬季の面会の落ち込みも見られなかった。

15. 行事報告※ ※施設にて企画したものを“行事”としているため、ボランティアによる訪問交流は含めていません

月	日	項 目	場 所	参 加 者
平成26年 4月	29日（火）	園外散策（お花見）AM	観音寺川、名家ほか	5名
	29日（火）	園外散策（お花見）PM	観音寺川、運動公園ほか	4名
	30日（水）	園外散策（お花見）AM	観音寺川、運動公園ほか	4名
	30日（水）	園外散策（お花見）PM	観音寺川、名家ほか	7名
5月	1日（木）	園外散策（お花見）AM	観音寺川、名家ほか	6名
	1日（木）	園外散策（お花見）PM	観音寺川、名家ほか	7名
	2日（金）	園外散策（お花見）PM	観音寺川、名家ほか	5名
6月	12日（木）	運動会	食堂	91名
	20日（金）	園外散策（食事）	デニーズ	4名
	24日（木）	園外散策（食事）	白津方面、来夢ほか	4名
	25日（金）	園外散策（食事）	まるまつ、リステルほか	4名
	26日（土）	園外散策（アイス）	太郎庵、リステルほか	3名
	30日（月）	園外散策（食事）	太郎庵、リステルほか	5名
7月	3日（木）	園外散策（アイス）	太郎庵	4名
	11日（金）	園外散策（アイス）	太郎庵、リステルほか	4名
	14日（月）	園外散策（アイス）	太郎庵	4名
	15日（火）	園外散策（アイス）	太郎庵	4名
	15日（火）	手持ち花火大会	正面玄関駐車場	66名
	17日（木）	園外散策（アイス）AM	太郎庵、リステルほか	5名
	17日（木）	園外散策（アイス）PM	太郎庵、リステルほか	5名
	19日（土）	さぎそう、さくら、 ななかま棟ゲーム大会	食堂	35名
	22日（火）	園外散策（食事）	道の駅ばんだいほか	4名
8月	7日（木）	夏まつり	食堂	96名
9月	15日（月）	敬老会	食堂	102名、ボランティア32名
	20日（土）	さぎそう棟ゲーム大会	食堂	19名
	27日（土）	ななかまど、さくら棟 ゲーム大会	食堂	19名
10月	15日（水）	園外散策（紅葉狩り）AM	レイクライン方面	5名

10月	15日（水）	園外散策（紅葉狩り）PM	レイクライン方面	6名
	16日（木）	園外散策（紅葉狩り）AM	レイクライン方面	5名
	16日（木）	園外散策（紅葉狩り）PM	レイクライン方面	5名
	17日（金）	園外散策（紅葉狩り）AM	レイクライン方面	6名
	17日（金）	園外散策（紅葉狩り）PM	天鏡台方面	5名
	19日（日）	園外散策（紅葉狩り）AM	レイクライン方面	5名
	19日（日）	園外散策（紅葉狩り）PM	天鏡台方面	4名
	25日（土）	園外散策（紅葉狩り）AM	天鏡台方面	5名
12月	11日（木）	もちつき会	ホーム食堂	85名
	18日（木）	クリスマス会	ホーム食堂	90名
1月	10日（土）	団子さし	ホーム食堂	43名
	15日（木）	歳の神	ホーム食堂	57名
2月	2日（月）	豆まき	ホーム食堂	53名、ボランティア27名
3月	3日（火）	ひな祭り	ホーム食堂	33名

16. 長期入所・短期入所実績及び前年度比較表

平成25年度				平成26年度			
月	長期入所	短期入所	計	月	長期入所	短期入所	計
4	2,272	577	2,849	4	2,211	581	2,792
5	2,250	657	2,907	5	2,210	627	2,837
6	2,254	613	2,867	6	2,261	618	2,879
7	2,431	673	3,104	7	2,374	627	3,001
8	2,315	635	2,950	8	2,464	583	3,047
9	2,202	626	2,828	9	2,421	616	3,037
10	2,342	611	2,953	10	2,388	581	2,969
11	2,286	619	2,905	11	2,306	560	2,866

12	2,288	632	2,920	12	2,402	574	2,976
1	2,370	636	3,006	1	2,386	536	2,922
2	2,142	617	2,759	2	2,138	507	2,645
3	2,378	651	3,029	3	2,398	541	2,939
計	27,530	7,547	35,077	計	27,959	6,951	34,910
前年比		長期入所	429	短期入所	-596	計	-167

[長期入所]

平成26年4月から7泊体制に移行し、7月から夜勤者を1名増員したことで、よりしっかりとした個別ケアが可能になり、水分強化や排泄ケアが充実してきた。その結果、例年7～8月は脱水や尿路感染症で入院されるご利用者がいたが、新しいケアが定着してきた8月半ばからは1ヵ月入院者が1人もいなく、退所者も1人もいなかった。これは開所以来初めての大きな成果であった。

水分は食事以外で1日1,500cc以上を目標にし、排泄は布パンツやリハビリパンツでトイレ排泄出来るようになった方が29名になった。生活リハビリでも拘縮悪化防止や改善ができる体位交換法で、おむつ交換ごとに拘縮改善の効果が出ている。また、嚥下困難者の食前マッサージを介護員が毎日行なうことで嚥下力の改善が見られている。さらに、口腔体操についても、介護職員が行うことで機能回復訓練士の個別リハビリの時間が増え、以前より動きが良くなったと家族から評価していただいている。

[短期入所]

平成26年度は短期入所利用までのプロセス変更があり、年度序盤は他事業所から新規紹介が減ってしまい実績の伸び悩みがあった。長期入所待機者の順位点数加算において、在宅で介護保険サービスを多く利用している方の点数が高くなるため、短期入所を多く利用されている方が長期入所に移行することが多く、実績低下に繋がっている。

下期は特に11月から入院者やお亡くなりになる方が多かった。入院された方が春まで病院で療養されるケースも多く、実績低下の大きな原因となっている。定員20名で4人部屋のみであるため、男性1室女性4室で受け入れているが、男女比率もあり、満床にすることが難しい状況のときもあった。

以上の結果、昨年度まで毎年実績アップしてきた短期入所であったが、一日平均が平成25年度は20.67人なのに対し、平成26年度は19.04人と開所以来初の実績ダウンとなっている。平成27年度は、レクリエーションやリハビリを充実させ、楽しみのある生活の場を提供することで、実績回復を図っていく。

2 健康支援領域

1. 病院受診状況

診療科	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
内 科		15	10	10	7	4	2	7	7	5	3	8	4	82
神 経 内 科		0	0	0	0	0	1	2	1	1	1	1	1	8
外 科		11	3	3	6	2	2	2	3	2	2	4	3	43
整 形 外 科		1	0	0	0	0	0	1	3	3	5	3	3	19
口 腔 外 科		0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
脳 外 科		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
泌 尿 器 科		0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
消 化 器 科		3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5
眼 科		0	2	1	0	3	1	0	1	1	2	1	0	12
循 環 器 科		1	1	2	1	0	1	1	0	2	1	0	0	10

皮 膚 科	0	0	0	0	1	3	2	0	0	1	2	1	10
耳 鼻 科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
精 神 科	18	13	13	10	13	16	14	12	14	13	17	18	171
歯 科	2	4	1	0	6	6	6	4	8	3	1	4	45
救 急	1	3	4	3	0	0	1	1	1	1	1	1	17
計	52	36	34	27	31	35	38	32	38	33	38	35	429

2. 入院状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人 数	7	5	3	3	0	2	5	2	1	1	5	2	36
延 日 数	251	73	93	78	0	9	211	57	40	7	142	32	993

3. 栄養管理状況

(1) 食事摂取基準算定

年齢	性別	人数	熱量 (kcal)		蛋白質 (g)	
			推奨量	人数計	推奨量	人数計
50-69	男	1	2,100	2,100	60	60
	女	0	1,650	0	50	0
70-	男	15	1,850	27,750	60	900
	女	63	1,450	91,350	50	3,150
推定平均必要量				1,534		52
摂取基準				1,150		54

(2) 月別提供料

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
熱量 (kcal)	1,568	1,558	1,564	1,549	1,567	1,577	1,572	1,567	1,569	1,585	1,596	1,611	1,574
蛋白質 (g)	58.7	58.8	58.2	57.0	58.0	58.8	60.0	58.9	58.9	58.2	61.0	59.9	58.9
脂肪 (g)	40.5	38.9	40.3	38.0	39.0	39.5	38.9	39.7	39.2	40.8	40.6	41.9	39.8
カルシウム (mg)	584	587	582	577	594	625	605	609	605	613	620	612	601
鉄 (mg)	7.9	8.1	8.2	7.9	8.3	8.4	8.3	8.1	8.5	8.0	8.1	8.2	8.2
ビタミンC (mg)	72	68	70	68	71	71	73	75	76	73	75	73	72
塩分 (g)	8.1	7.9	7.8	8.0	8.1	8.0	8.3	8.3	8.0	8.5	8.3	8.4	8.1

(3) 摂取状況

		前期		後期	
		人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
主食	飯	13	16	18	23
	おにぎり	0	0	0	0
	軟飯	16	20	17	22
	全粥	32	40	30	38
	全粥ミキサー	8	10	4	5
	経管	12	15	10	13
	計	81	101	79	101
副食	常食	22	32	22	32
	きざみ食	22	32	26	38
	超きざみ食	15	22	16	23
	ミキサー食	10	14	5	7
	計	69	100	69	100
提供量	常量	12	17	10	15
	ハーフ食	16	23	23	33
	主食ハーフ食	21	30	22	32
	主食小盛	20	29	14	20
	計	69	99	69	100
提供量	ヨーグルト	6	9	8	12
	ヤクルト	8	12	11	16
	増粘剤	15	22	17	25
	栄養補助食品ゼリー	2	3	4	6
	栄養補助食品ドリンク	2	3	2	3

(4) 療養食ほか

項目		前期	後期
糖尿病食	1,400kcal	1	1
	1,200kcal	2	2
	1,000kcal	2	1
塩分制限食		2	3
経口移行食		0	0
ワーファリン食		2	2

(5) 栄養ケアマネジメント

程度	前期		後期	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
低リスク	42	52	39	49
中リスク (内経管)	33 (11)	41	35 (10)	44
高リスク (内経管)	6 (1)	7	6	8

リスクの内容		前期	後期
中リスク	アルブミン低値 (3.6g/dl以下)	8	6
	BMI低値 (18.5未満)	8	10
	食事摂取量不良 (75%以下)	2	1
高リスク	アルブミン低値 (3.0g/dl以下)	4	4
	褥瘡形成	2	1
	体重減少率高値 (5%以上/月)	0	1

内容		年度内のリスク変動					
		高→中	中→低	高→低	低→中	中→高	低→高
アルブミン値	改善	3	1	0			
	低下				2	0	0
BMI	改善	0	1	0			
	低下				0	0	0
褥瘡	治癒	1	0	0			
	形成				0	1	0
体重減少率	改善	0	0	0			
	高値				1	0	0

Ⅳ 第二事業課事業経過報告

平成 27 年 3 月 31 日現在

1 在宅福祉支援領域

A) デイサービス事業

1. 要介護度別利用実績

要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	男	1	1	1	1	1	1	2	3	3	3	2	3	22
	女	8	8	8	6	6	6	6	6	7	6	8	8	83
	小計	9	9	9	7	7	7	8	9	10	9	10	11	105
要支援2	男	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	20
	女	4	5	6	7	6	6	6	6	6	5	5	7	69
	小計	6	7	8	9	8	8	7	7	7	6	7	9	89

要介護1	男	16	15	14	13	12	11	12	12	12	11	10	10	148
	女	25	25	24	24	28	26	24	24	24	24	24	27	299
	小計	41	40	38	37	40	37	36	36	36	35	34	37	447
要介護2	男	7	5	6	8	9	8	8	10	9	9	8	9	96
	女	22	23	24	27	27	25	23	23	21	17	17	20	269
	小計	29	28	30	35	36	33	31	33	30	26	25	29	365
要介護3	男	4	6	6	6	6	7	7	7	6	5	4	5	69
	女	10	10	10	9	9	11	10	11	11	13	12	13	129
	小計	14	16	16	15	15	18	17	18	17	18	16	18	198
要介護4	男	1	1	2	0	0	1	1	1	1	0	0	0	8
	女	4	6	7	7	7	8	8	8	9	8	9	10	91
	小計	5	7	9	7	7	9	9	9	10	8	9	10	99
要介護5	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	4	4	3	4	3	6	6	6	6	6	6	58
	小計	4	4	4	3	4	3	6	6	6	6	6	6	58
合計	男	31	30	31	30	30	30	31	34	32	29	26	29	363
	女	77	81	83	83	87	85	80	80	80	74	76	86	972
	小計	108	111	114	113	117	115	111	114	112	103	102	115	1335
利用者 延人数	男	184	171	175	184	175	175	176	189	196	164	161	175	2125
	女	472	490	514	542	538	531	529	473	467	419	427	493	5895
	合計	656	661	689	726	713	706	705	662	663	583	588	668	8020

2. 要介護度別平均年齢

要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要支援1	男	82.25	82.33	82.42	82.50	82.58	82.67	81.50	79.94	80.03	80.11	78.75	80.97	80.84
	女	87.60	87.69	87.77	89.64	89.72	89.81	90.93	91.01	89.86	90.57	89.27	89.47	89.32
	平均	87.01	87.09	87.18	88.62	88.70	88.79	88.57	87.32	86.91	87.08	87.17	87.15	87.54
要支援2	男	84.46	84.54	84.63	84.71	84.79	84.88	89.67	89.75	89.83	82.08	82.17	82.25	85.10
	女	77.75	80.47	82.53	83.62	82.44	82.53	82.61	82.69	82.78	82.85	82.93	82.73	82.32
	平均	79.99	81.63	83.05	83.86	83.03	83.11	83.62	83.70	83.79	82.72	82.81	82.67	82.90
要介護1	男	87.06	87.08	87.49	87.29	87.39	87.61	86.59	86.67	86.76	86.71	83.77	85.22	86.72
	女	88.69	88.69	87.94	86.44	86.98	87.60	87.63	86.57	87.03	87.23	87.22	87.07	87.42
	平均	88.05	88.08	87.77	86.74	87.10	87.60	87.28	86.60	86.94	87.06	86.21	86.57	87.19
要介護2	男	84.67	81.52	84.06	82.44	83.04	85.50	83.15	82.89	82.47	81.52	83.31	84.92	83.29
	女	86.77	87.03	87.31	88.30	88.39	88.37	88.58	88.80	88.50	87.68	88.54	88.72	88.09
	平均	86.24	86.01	86.64	86.92	87.01	87.65	87.18	87.01	86.69	85.55	86.87	87.54	86.81
要介護3	男	89.19	87.14	87.22	87.31	87.39	87.32	87.40	87.29	88.85	88.35	86.21	87.43	87.57
	女	89.96	90.08	90.16	90.27	90.32	90.19	90.25	89.68	90.36	90.01	90.65	90.12	90.17
	平均	89.74	88.97	89.06	89.08	89.15	89.07	89.08	88.75	89.82	89.55	89.54	89.38	89.26

要介護4	男	81.17	81.25	83.08	-	-	85.08	85.17	85.25	85.33	-	-	-	83.68
	女	85.02	84.96	86.21	86.30	86.38	87.89	87.97	88.05	88.02	86.84	87.94	87.75	87.13
	平均	84.25	84.43	85.52	86.30	86.38	87.57	87.66	87.74	87.75	86.84	87.94	87.75	86.85
要介護5	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	85.25	88.98	89.06	87.69	89.23	86.47	86.56	83.04	83.13	88.75	88.83	88.92	87.22
	平均	85.25	88.98	89.06	87.69	89.23	86.47	86.56	83.04	83.13	88.75	88.83	88.92	87.22
計	男	86.28	85.64	86.14	85.67	85.75	86.55	85.61	85.14	85.36	84.54	83.55	84.96	85.47
	女	87.26	87.52	87.53	87.48	87.69	87.94	88.10	87.74	87.81	87.77	88.10	87.89	87.74
	平均	86.98	87.01	87.15	86.99	87.18	87.57	87.40	86.97	87.11	86.86	86.97	87.17	87.12

3. 車両運行実績

車種 月別	走行距離 (km)				
	ハイエース1	ハイエース2	旧ステップ	新ステップ	キャラバン
4	1,034	984	1,206	1,328	66
5	1,097	1,028	1,217	1,678	0
6	1,097	1,064	1,091	1,797	119
7	1,132	1,058	1,066	1,873	71
8	1,044	930	1,199	1,563	58
9	1,115	995	1,190	1,625	83
10	1,083	844	1,277	1,648	339
11	1,138	946	988	1,459	156
12	1,129	29	1,107	1,572	0
1	1,026	97	1,108	1,301	203
2	994	181	876	1,452	197
3	1,067	339	226	1,481	0
計	12,956	8,495	12,551	18,777	1,292

B) 訪問入浴介護事業

1. 月別利用実績

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者実数	13	13	13	16	16	15	13	14	13	12	13	11	162
延実施日数	22	22	21	23	21	22	23	20	23	22	20	22	261
延利用回数	50	54	59	88	83	75	61	62	61	57	50	53	753
1日平均	2	2	3	4	4	3	3	3	3	3	3	2	3
登録者数	16	17	15	16	17	16	13	14	13	12	14	13	176

2. 地区別登録利用者

地区 性別	吾妻	長瀬	翁島	猪苗代	千里	月輪	計
男	0	1	1	0	2	0	4
女	5	4	5	2	1	0	17
計	5	5	6	2	3	0	21

3. 年齢別登録利用者

性別\年齢	～59	60～69	70～79	80～89	90～	計
男	0	2	0	1	0	3
女	1	0	0	8	8	17
計	1	2	0	9	8	20

4. 車両運行実績

(単位：km)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
走行距離	660	684	706	1,072	1,066	1,089	833	702	739	690	640	630	9,511

事業実施日 127 日 平均走行距離 793 km/月

5. 要介護度別利用者

要介護度	1	2	3	4	5	障害者	計
人数	0	0	1	7	10	1	19

要支援2
1名

2 居宅介護支援領域

サービス計画書作成にあたって、介護支援専門員としての基本姿勢を念頭に置き、利用者の価値観や人生観を踏まえつつアセスメントを行い、本人の意向と家族の介護負担を考慮しながら、少しでも本人の意欲を引き出せるような計画書となるよう努めた。サービスの提供にあたっては、サービス提供事業所などと連携し、主治医、関係機関に指導を仰ぎながらチームでの支援に努めた。

また、より充実した居宅介護支援を提供できるよう研修会などの参加や受講に努め、個々のスキルアップを図った。

事業実績については、以下のとおりである。

1. 要介護認定訪問調査実施状況

月\年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
H25	39	28	42	47	27	33	31	28	29	26	31	38	399
H26	31	36	32	45	26	25	22	19	33	29	29	39	366

今年度の認定調査の実施状況については、集計表のとおりであり、保険者よりの調査依頼数は、前年対比で91.7%となっている。

2. 居宅サービス計画作成実績

月\年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
H25	182	179	178	178	180	179	181	181	180	174	170	173	2,135
H26	175	176	173	175	175	178	177	180	176	169	173	182	2,109

今年度の計画作成件数実績は2,109件で前年対比98.7%であり、介護支援専門員1人当たりの月計画作成平均件数は35.1件となっている。

3. 計画作成依頼登録数

性別 \ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	増減
男 性	継続	69	68	66	61	62	63	68	70	70	70	68	68	803	
	新規	2	0	0	1	1	5	3	2	2	1	1	0	18	
	終結	3	2	5	0	0	0	1	2	2	3	1	0	19	
	小計	68	66	61	62	63	68	70	70	70	68	68	68	802	-1
女 性	継続	158	157	155	156	155	154	158	157	154	151	155	153	1,863	
	新規	3	1	4	4	2	5	3	2	2	6	1	11	44	
	終結	4	3	3	5	3	1	4	5	5	2	3	1	39	
	小計	157	155	156	155	154	158	157	154	151	155	153	163	1,868	5
合 計		225	221	217	217	217	226	227	224	221	223	221	231	2,670	4

以上